

千葉県夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）発

2021年 6月 2日 配信

[夷隅感染症情報]（2021年 第5報）

2021年第16週 ～ 2021年第20週（R3年 4/19 ～ R3年 5/23）

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が6/20まで延長 されました

県内全域で下記の徹底をお願いします。

県民の皆様へ

- 不要不急の外出自粛を徹底 ～昼夜を問わず、徹底！～
- 基本的な感染対策を徹底 ～会話するときはマスクを着用～
「3つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行ってください。
- 飲食時の注意 ～昼夜や場所を問わず黙食・少人数で～
- カラオケの利用の際の注意 ～歌唱中のマスクの着用、マイク等の消毒～

事業所の皆様へ

- 職場での対策 ～出勤者数の7割削減～
感染防止のための取組（マスクの着用、手洗いや手指消毒、咳エチケット等）のほか、時差出勤や在宅勤務（テレワーク）、昼休みの時差取得等を促進してください。

感染が心配な時は、・・・

- 発熱等の症状を感じたら、日ごろ通院している医療機関か、お住まいの近くにある医療機関に、まずは電話で御相談ください。（医療機関を受診する際は、必ず電話等で事前予約してから受診してください。）
- 発熱相談コールセンターでは、発熱患者等が相談先に迷う場合の窓口の一つとして、診療可能な医療機関を御案内しています。
- なお、県ホームページでは、地域毎に相談窓口の電話番号（コールセンター、市町村、発熱相談医療機関）を掲載しています。

◎千葉県発熱相談コールセンター

（電話番号） 0570-200-139

（対応時間） 24時間（土日・祝日を含む）

◎夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）での相談

（電話番号） 0470-73-0145

（対応時間） 平日の午前8時30分から午後5時15分

1 新型コロナウイルス感染症について

＜千葉県ホームページより＞

1) 千葉県内で確認された感染者数（令和3年5月30日15時現在）

陽性者数(累積) ()内は新規感染者	現在の感染者数	退院・療養終了	死亡
37,057(93)	1,034	35,346	677

2) PCR検査実施状況（令和3年5月27日現在）

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査 人数	直近1週間の 陽性者数	直近1週間の 陽性割合(%)
608,636	8,040	313	4.23

2 管内の感染症発生状況

管内では、第20週に1例の腸管出血性大腸菌感染症の発生届がありました。

新型コロナウイルス感染症は、管内の医療機関から管外居住者分も含めて、第16週～第20週までに27例の発生がありました。

●管内の全数把握感染症情報 ●

<類別・疾患別集計表>

区 分	16週-20週	累計(2021年発生分)
1類感染症	0	0
2類感染症		
結核	1	8
3類感染症	1	1
4類感染症 (※管内居住の患者数)	0	9(つつが虫病8 E型肝炎1)
5類感染症 (※管内医療機関からの届出数)	0 0 0	0 0 0

疾 患 名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2021年 1週～ 20週の 累計	直近5週の届出数				
		2021年 16週	17週	18週	19週	20週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	1	0	0	0	0	0
2 RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	7	0	0	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0	0	0	0	0
5 感染性胃腸炎	8	0	0	1	0	0
6 水痘	5	0	0	0	0	0
7 手足口病	1	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	5	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0
11 流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0

●管内定点把握対象疾患 ●

<参考>夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

3 県内の感染症発生状況 (出典:千葉県感染症情報センター 2021年第15週 週報より)

一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ペネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ポツリヌス症	0	0
			マラリア	0	0
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	0	16
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	0	7
結核	17	348	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	3
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	19
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	1	13
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	5
			後天性免疫不全症候群	1	12
			ジアルジア症	0	1
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	2	24
			水痘(入院例)	0	5
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	3	82
			播種性クリプトコックス症	0	2
			破傷風	0	4
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2
			百日咳	0	14
			風しん	0	1
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	1	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	1	21			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)			
E型肝炎	0	13			
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	1			
エキノコックス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサナル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	18			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計				
新型コロナウイルス感染症*	36,507				

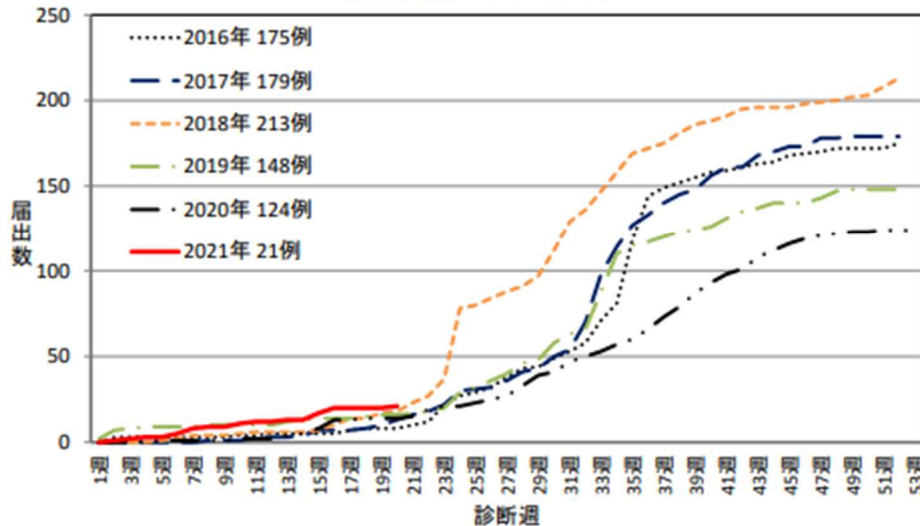
*千葉県報道発表による(5月25日15時現在)

【今週の注目疾患】 腸管出血性大腸菌

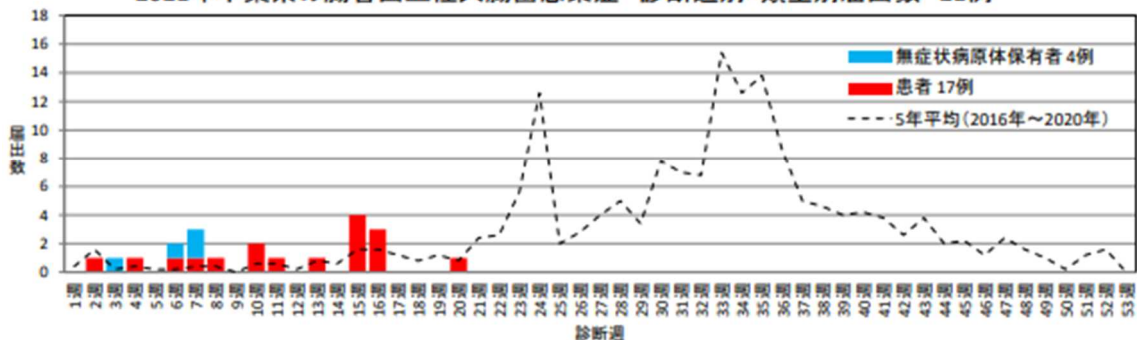
千葉県では、2021年20週に1例届出があり、2021年の累計は21例となりました。

前週(2021年19週)における全国の発生状況では23例届出があり、近隣都県では埼玉県で1例、東京都で2例、神奈川県で4例報告がありました。2021年の累計は367例となりました。

2016年～2021年20週千葉県の腸管出血性大腸菌感染症
年別累積届出数 860例



2021年千葉県の腸管出血性大腸菌感染症 診断週別・類型別届出数 21例



臨床症状

腸管出血性大腸菌感染症は、O157をはじめとするペロ毒素産生性の腸管出血性大腸(Enterohemorrhagic E. coli, EHEC)で汚染された食物などを経口摂取することによっておこる腸管感染が主体です。また、ヒトからヒトへの二次感染も問題となります。その症状は、無症候性から軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに、著しい血便とともに重篤な合併症を起し死に至るものまで、様々です。

多くの場合、3～5日の潜伏期において、激しい腹痛をともなう頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台です。血便の初期には血液の混入は少量ですが次第に増加し、典型例では便成分の少ない血液そのものという状態になります(図3)。有症者の6～7%において、下痢などの初発症状発現の数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome, HUS)、または脳症などの重症な合併症が発症します。HUSを発症した患者の致死率は1～5%とされています。

治療・予防

治療については、「一次、二次医療機関のための腸管出血性大腸菌(O157等)感染症治療のマニュアル」、溶血性尿毒症症候群の診断・治療ガイドライン作成班「溶血性尿毒症症候群の診断・治療ガイドライン」を参照。

予防対策としては、汚染食品からの感染が主体であることに留意して、食品を十分加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切です。

< 感染症情報のリンク先 >

- ・ 国立感染症研究所 <http://www.niid.go.jp/niid/ja/>
- ・ 千葉県健康福祉部疾病対策課 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/index.html>
- ・ 千葉県感染症情報センター（千葉県衛生研究所感染症疫学研究室内）
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>
- ・ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 厚生労働省検疫所（FORTH） <http://www.forth.go.jp/>

< 梅毒に関する情報のリンク先 >

- ・ （国立感染症研究所 先天梅毒の手引き）
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-05-11-3-c.pdf>

《参考・引用》

- ・ 厚生労働省:梅毒に関する Q&A
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
- ・ 国立感染症研究所:梅毒とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>
- ・ 国立感染症研究所:IASR:【特集】梅毒(2020年)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>

千葉県夷隅健康福祉センター（夷隅保健所）

【お問い合わせ先】

isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
